

はいうす



小樽市立張碓小学校



＜教育目標＞

- 学習にはげむ子ども
- 礼儀正しい子ども
- 健康な子ども

HP更新中



第4号

令和6年6月28日

子どもの安全・安心を守るために

校長 西山 誠一

小樽市では、6月10日から7月末までを「『子どもの安心・安全を守るキャンペーン』強調期間」としています。学校では、児童会によるあいさつ運動を行っています。また、教員が子どもに寄り添い、温かい声掛けを行うことをいっそう心掛けています。地域・保護者の皆様には、子どもの登下校時に合わせて外作業を行っていただくなど、子どもを多くの目で見守ってくださると幸いです。



あいさつ運動のようす

さて、6月にいじめに関する児童アンケートを行いました。「（今年度）嫌な思いをしたことがありますか」という設問に対し、「ある」と答えた児童は全校で10名でした。その子たちからは聞き取りを行い、それぞれについて解決への手立てを取りました。注意深く今後を見守っていきます。学校としては、「いじめ見逃しゼロ」を目標にしていきます。そのために、子どもたちが、友人関係等で悩んだことがあった時、誰にでも良いので声を出せるような環境をつくります。ご家庭でも気になることがあれば、遠慮なくご相談ください。

充実した修学旅行！

6月19日・20日、5・6年生22名が修学旅行に行ってきました。1日目は、ウポポイ、入江高砂貝塚等で北海道の歴史を学びました。ホテルでは友達同士でお風呂に入ったり、買い物をしたり、花火を見たりして楽しい時間を過ごしました。2日目は、陶芸制作体験をしました。その後、道栄製紙や宇宙記念館を見学しました。



晴天に恵まれ、気温も活動に適したものでした。そして、修学旅行中の子どもたちの姿は、安心して見守ることのできるすばらしいものでした。

◆気持ちのよいあいさつ 旅行中は多くの方と出会いました。子どもたちは、その方々に自分からあいさつをしていました。感心したのは、直接係わって説明をしてくださる方だけではなく、案内や作業等で働いている方にもあいさつをする子が多かったことです。

◆前向きな見学態度 見学場所によっては、説明や見学が長時間にわたることもありましたが、貝塚は敷地が広く、かなりの距離を歩きました。それでも子どもたちは、最後まで集中を切らさずに活動し、説明する方の話をうなずいて聞くなど、前向きな見学態度でした。

学校行事は、普段の学びと生活の成果を発揮する場でもあり、張碓小の高学年としての立派な姿を見ることができました。修学旅行の経験と学びを今後に生かしてほしいと思います。

感謝状をいただきました！～募金活動

6月3日（月）は全校朝会を行いました。この日は、小樽共同募金委員会より委員の皆様が来校しました。これまでの本校の募金活動に感謝の意を込めて、会長より感謝状が贈呈されました。児童を代表し、児童会長松倉恋樹さんが感謝状を受け取りました。そして、副会長和歌初衣さんが「これからも募金活動を続けて、困っている人の役に立ちたいです。」と今後の取組について、決意を新たに述べていました。

張碓小学校では、毎年10～11月に児童会主催で「赤い羽根共同募金」の取組を行っています。



取材活動や講師からのお話

～「あおぼと学習」

班ごとに決定したテーマに迫るため、調べ活動を進めたり、校外に出かけて取材活動をしたり、講師をお招きして講話を聞くなどして「あおぼと学習」を進めているところです。

6月5日（水）2校時は、張碓稲荷神社氏子総代長の浅利さんを訪ね、張碓稲荷神社についてのお話を伺うことができました。班を代表して行った4人の人たちは、真剣に話を聞きながら、記録用紙にメモを書き進めていきました。



また、小樽市総合博物館運河館の石川館長をお招きし、張碓の歴史に関わるお話を聞き、メモを取っていました。



さらに、毎日子どもたちを見守ってくださっている西川さんにも来ていただき、神社のことや昔の授業、行事についてお話を伺うことができました。



7月12日（金）に学習の成果を「あおぼと発表会」（地域公開日）で発表します。地域の皆様、保護者の皆様、どうぞいらしてください。

初めての引き取り型訓練を行いました

6月17日（月）は、災害等により、子どもたちが下校できない場合を想定して、保護者の皆様による引き取り型訓練を初めて行いました。子どもたちは体育館で待機し、集団下校時の約束を確認したり、班ごとにリーダーを決めたりしました。玄関で保護者の皆様の迎えを確認すると体育館の担当者へ連絡し、子どもたちが玄関へ移動してきて、保護者の皆様に引き取っていただくという一連の流れを確認できました。保護者の皆様、ご協力いただき、誠にありがとうございました！

交通事故のおそろしさ、トラックの内輪差等について学びました！

6月14日（金）2校時は、トラック協会による交通安全教室が行われました。はじめに、車は突然の飛び出しに気付いて、ブレーキをかけてもすぐには止まらないこと、テールランプやハザードランプの意味について学びました。また、交差点では、道路のぎりぎりのところで待つのではなく、少し下がって待つことの必要性について、トラックの内輪差の実演により理解を深めました。後半は、大型車の運転席や助手席に乗り込み、視認性について説明を受け、運転者からは見えない死角があることを学びました。交通安全に対する意識を高める学びの場となりました。



火災対応の避難訓練を実施！

～万が一に備えて

6月7日（金）2校時は、1階機械室から出火したという想定で第1回目の避難訓練を行いました。

子どもたちは「機械室から出火しました。直ちにグラウンドへ避難してください。」という校内放送を聞き、担任の引率でグラウンドへ避難しました。

避難後は、小樽市消防署銭函支署の方の講話を聞き、日頃の心構えや火災に対する注意等について学びました。小樽市内では、令和5年は39件、令和6年は今のところ11件の火災があったということです。ご家庭でも火災について話題にいただければと思います。



指導主事訪問がありました

～後志教育局指導主事・市教委主査が訪問

5月31日（金）後志教育局より指導主事、市教委より主査が学校を訪問しました。本校の教育活動についての取組を紹介した後、各学級の



授業を見ていただきました。

子どもたちが落ち着いて学習に取り組み、一人一台端末（クロームブック）を活用している場面を中心に授業を見ていきました。

学級の雰囲気や先生方の子どもたちへの温かい声かけから、学校全体で「温かい学校づくり」を進めていることが伝わってきたと感想をいただきました。

